



野網義一 議員

## コミュニティバスの有効活用

身近なところにバス停を



運行開始のコミュニティバス

2月にコミュニティバスがスタートした。ところが、バス停が少なく利用したくても利用できない人が多いことがわかった。

巡回線に16カ所バス停があるが、例えば東公民館など15カ所のバス停を追加すべき。西公民館での方向転換やゲンキー東のバス停は無駄が多すぎる改善を。そうすればバス停を多くしても時間は、ほとんど変わらない。

逆コースも導入し、無駄にバスに乗っている時間を短縮すべき。温泉バスのようにフリー乗降の導入や温泉入り口まで運行すべきではないか。

町長

運行し始めたばかりなので温泉バスのようにはいかない。コースの無駄を省きできるだけ多くのみなさんに利用していただけるよう逆コースや北回り南回り線についてもしばらく利用状況をみて検討する。

### コミュニティバス利用状況

単位：人

	2月	3月
巡回線	544	799
南回り(火・木)	99	156
北回り(水・金)	91	233
計	734	1188

道の駅を自慢できる施設に

新館と歩道橋をつなげ

25年度実施に向け準備

狭くて入り組んでいて店に入りにくい。車椅子の利用が困難。雨風が吹いたらゆっくりくつろげる所がないなど道の駅の改善を求める町民の声が多い。物理的な改善はむず

町長

かしいが、道の駅をもっと魅力あるものにすべき。魅力ある商品の開発。フリーマーケットの実施と町民参加。野菜売り場は安全で新鮮な野菜をもっと多く。周辺の地域と一体となった環境作りを提案する。道の駅と新館をつなぐ歩道橋はいつできるのか。

町長

フリーマーケットは4月から定期的に実施したい。そこへ町民の参加も。歩道橋は25年度の社会資本整備事業の補助事業対象になるので、実施に向けて関係機関と協議を進める。

原発事故起きたら大変

ヨウ素剤近くに

放射能のモニタリングを

3月3日福井県の美浜原子力発電所の近くの水晶浜から千個の風船が10時から12時に

町長

かけて放たれた。12時30分には八幡や池田山登山道で拾われ、北西の季節風につれて短時間に池田町まで飛来することが証明された。事故が起きた時の速報体制と防災対策を確立されたい。ヨウ素剤を保健センターなどに近くに備蓄されたい。放射線の測定を恒常的に実施せよ。

町長

ヨウ素剤は県内の大病院6カ所に5千人分確保されているがもっと近くで確保できるように県に要望する。モニタリング検査も実施したい。



役場に導入された線量計

その他、消費税増税について池田町の産業や財政に与える影響について質問。